

# 甲斐市(山梨県)

(2005年3月14日現在)

## 1. 新市の基礎情報

合併の期日：2004年9月1日	合併の方式：新設・編入	
市となるべき要件の特例の適用：有(人口要件・市の全域を含む新設合併)・無		
人口 <sup>(1)</sup> ：71,706人(高齢化率 <sup>(2)</sup> 12.7%)	面積 <sup>(3)</sup> ：71.94k m <sup>2</sup>	
議員数 <sup>(4)</sup> ：54人(法定上限30人)	一般職員数 <sup>(5)</sup> ：500人	
財政力指数 <sup>(6)</sup> ：0.652	経常収支比率 <sup>(7)</sup> ：77.5%	
2004年度歳入予算額 <sup>(8)</sup> ：21,267,214千円		
うち、地方税7,208,800千円、地方交付税3,209,520千円		
合併特例債発行予定額26,852百万円/同限度額28,300百万円		
産業構造 <sup>(9)</sup> ：第一次産業3.6%、第二次産業37.4%、第三次産業59.0%		

(出典)(1)(2)(9)：2000年「国勢調査」。 (3)：2003年10月「全国都道府県市区町村別面積調」。  
 (4)：合併時の数。(5)：「合併調査アンケート」回答による。(6)(7)：「合併調査アンケート」回答による2003年度決算額(8)：「合併調査アンケート」回答による2004年度当初予算の3町の一般会計の合計。

## 2. 合併関係市町村の基礎情報

関係市町村	人口 <sup>(1)</sup>	高齢化率 <sup>(2)</sup>	面積 <sup>(3)</sup>	議員数 <sup>(4)</sup>	一般職員数 <sup>(5)</sup>	財政力指数 <sup>(6)</sup>	経常収支比率 <sup>(7)</sup>
旧竜王町	40,559人	11.2%	12.80k m <sup>2</sup>	22人	235人	0.71	80.5%
旧敷島町	18,546人	15.0%	40.28k m <sup>2</sup>	18人	130人	0.52	78.6%
旧双葉町	12,601人	13.9%	18.86k m <sup>2</sup>	16人	80人	0.52	71.7%

(出典)(1)(2)：2000年「国勢調査」。 (3)：2003年10月「全国都道府県市区町村別面積調」。  
 (4)：合併直前の定数。(5)(6)(7)：2002年度「市町村別決算状況調」。

## 3. 合併の特徴

<p>(1) 合併の理由・目的 &lt; 合併の大きな流れ、 地方分権推進、 住民ニーズの広域化・高度化 &gt;</p> <p>地方分権の推進という大きな流れの中で、新しい時代にふさわしい地方自治の確立が求められている中、少子・高齢化といった新たな行政課題や行政サービスの多様化に対応し、効率的な行政運営を図るため合併したものである。</p>
<p>(2) 合併のプロセスで重視したこと &lt; 関係市町村間の合意、 住民の理解、 期日 &gt;</p> <p>&lt; 最も重視したことの具体的な内容 &gt;</p> <p>新市の将来構想を策定し、地域に出向き住民に直接説明し、住民の理解を得ることを最も重視した。</p>
<p>(3) 中心となって合併を推進した人物・団体等 &lt; 首長、 議会・議員 &gt;</p> <p>&lt; 合併推進の具体的な活動 &gt;</p> <p>三町とも合併の検討懇談会等を設置し、住民代表と協議検討する中で、法定協議会を設置</p>

することを決定し、正式に合併協議に入って首長を中心に進めた。

#### 4. 合併協議

(1) 今回の合併以前における合併協議の経緯	
1991年に三町で双葉インターチェンジ設置期成同盟を設置し、1996年三町連絡協議会に組織変更し、火葬場の建設整備について、三町で一部事務組合を設置し、事業を進めてきた。また三町連絡協議会で、三町の接点となる竜王駅の整備について協議を重ねる中で周辺整備についての検討を行い、併せて合併問題について3町連絡協議会の事業に、「合併問題に関する調査研究」を加え、取り組んだことが始めである。	
(2) 合併関係市町村以外の市町村との合併協議	
該当なし	
(3) 合併関係市町村の従前のつながり	
郡の構成市町村の一部、一部事務組合(複合的一部事務組合を含む)の構成市町村の一部、広域市町村圏の構成市町村の一部、生活圏が一致	
(4) 合併の端緒	
竜王駅周辺整備事業、火葬場建設事業については3町での検討・協議が必要であり、1996年に三町連絡協議会を設置したこと。	
(5) 任意の合併協議会(設置期間:設置していない)	
構成メンバー	
運営上の工夫	
(6) 法定協議会(設置期間:2002年4月1日~2004年8月31日)	
住民発議等	有(直接請求・住民発議)・ <input type="checkbox"/> 無
構成メンバー	首長、助役各1名、議員各4名、住民各8名、県職員(峡中地域振興局長、峡北地域振興局長) 計44名
運営上の工夫	特になし
(7) 基本5項目(方式、期日、名称、事務所の位置、財産)	
<協議を行ううえでの工夫> 合併の方式を新設合併とし、新市の名称は公募した。新事務所の位置は分庁方式として、仮に本庁を竜王庁舎とした。	
<協議開始および決定の時期>	
	(方式) (期日) (名称) (位置) (財産)
協議開始:	02年5月 02年5月 03年4月 03年4月 03年4月
合意:	02年10月 03年7月 03年11月 03年12月 03年12月
<決定に至るまでに最も難航した項目と解決策>	
特になし	
<基本項目「合併の方式」の決定理由>	
対等合併を前提として協議したため。	
<input type="checkbox"/> 新設・編入	

<p>&lt;基本項目 「合併の期日」の決定理由&gt; <span style="float:right">2004年9月1日合併</span></p> <p>最近の合併事例から算出した平均協議期間、住民の方々への説明期間等を配慮し、三町長による運営調整会議で提案し、合併目標期日を決定した。</p>				
<p>&lt;基本項目 「新市の名称」の決定手続き・理由&gt; <span style="float:right">公募 <input checked="" type="checkbox"/> ・無</span></p> <p>決定手続：新市名称検討小委員を接し、募集要項を制定。応募総数3,966点の中から5点を選考。旧3町ごとに協議の結果、すべての町で「甲斐市」が1位となったため。</p> <p>選定理由：「山梨を代表する。また、リーダー的な市であってほしい」との願いや、昔から甲斐の国として広く知られ、山梨県中央部にふさわしいなどの理由。</p>				
<p>&lt;基本項目 「新事務所の位置」とその決定理由・工夫した点&gt; <span style="float:right">既存施設 ・新規建設</span></p> <p>当分の間、分庁方式とし、合併関係町村の中で、庁舎が比較的大きく、新しい旧竜王町の庁舎を本庁舎とし、今後、本庁舎建設について、新市の特別委員会等で建設の必要性を検討の上決定していく。 (新事務所以外の関係市町村の旧庁舎の取り扱い) 敷島町、双葉町の庁舎を分庁舎とした。</p>				
<p>&lt;基本項目 「財産の取扱い」&gt;</p> <p>(新市に引き継がなかった、または引き継ぐかどうか問題となった財産) 正負ともになし</p>				
<p>(8) 新市建設計画</p>				
<p>計画の期間：10ヵ年</p> <p>理由：長期的な視野、新市で策定される総合計画との整合性を考慮した。</p>				
<p>&lt;策定に当たっての工夫&gt;</p> <p>県事業や政策的な施策に係る文章の表現。新市で策定する総合計画との関連。</p>				
<p>&lt;関係市町村間での調整が難航した項目&gt;</p> <p>特になし</p>				
<p>&lt;新市建設計画の特徴または合併の理由・目的を達成するための工夫&gt;</p> <p>旧3町から重要プロジェクトとして掲げるとともに、新市が速やかに一体性を図る点である。</p>				
<p>&lt;新市建設計画と関係市町村の基本構想、総合計画(基本計画・実施計画等)の内容&gt;</p> <p>合併協議会で策定した新市将来構想策定時より、旧3町の総合計画をベースにし、これを基本とした。</p>				
<p>単位：百万円 ( )は%</p>	<p>合併前 (2002年度)</p>	<p>財政計画</p>		
		<p>2004年度</p>	<p>2009年度</p>	<p>2014年度</p>
<p>歳入合計</p>	<p>21,228</p>	<p>21,280</p>	<p>22,640</p>	<p>20,952</p>
<p>  地方税</p>	<p>7,661(36.1)</p>	<p>7,660(36.0)</p>	<p>7,660(33.8)</p>	<p>7,660(36.6)</p>
<p>  地方交付税</p>	<p>4,309(20.3)</p>	<p>5,536(26.0)</p>	<p>5,427(24.0)</p>	<p>6,403(30.6)</p>
<p>歳出合計</p>	<p>20,251</p>	<p>20,630</p>	<p>21,990</p>	<p>20,302</p>
<p>  人件費</p>	<p>3,584(17.7)</p>	<p>3,483(16.9)</p>	<p>3,368(15.3)</p>	<p>3,225(15.9)</p>
<p>    (参考：一般職員数)</p>	<p>(445人)</p>	<p>(447人)</p>	<p>(432人)</p>	<p>(414人)</p>
<p>  公債費</p>	<p>2,433(12.0)</p>	<p>2,450(11.9)</p>	<p>2,551(11.6)</p>	<p>3,163(15.6)</p>
<p>  普通建設事業費</p>	<p>4,138(20.4)</p>	<p>4,687(22.7)</p>	<p>5,624(25.6)</p>	<p>4,643(22.9)</p>

( 9 ) 都市計画区域・用途地域の新たな設定・変更等	
新たな設定・変更等は行っていない。	
( 10 ) 住民への情報提供等	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広報誌等の配布 ( 全 15 号。配布方法 : 自治会 ( 区 ) 長を通じて配布 )</li> <li>・ 住民説明会の開催 ( 延べ 32 回開催、延べ 1,989 人参加 )</li> <li>・ H P の開設 ( 2002 年 5 月開設、2 月 1 回定期更新、アクセス数 82,000 回 )</li> </ul>	
( 11 ) 住民の意向を問う住民投票・調査等の実施	
( 名 称 ) : 住民意向調査 ( 旧竜王町、旧双葉町 ) / 住民投票 ( 旧敷島町 )	
( 時 期 ) : 2003 年 6 月 13 日 / 2003 年 7 月 6 日	
( 対象者 ) : 18 歳以上の 3 町の住民基本台帳に登録されている人又は特別永住者及び永住者として外国人登録されている人	
( 方 法 ) : アンケート方式 ( <input checked="" type="checkbox"/> 郵送 ) ・ 訪問 ) / 投票方式	
( 12 ) 都道府県からの支援	
<p>人的支援 : 法定協議会事務局に職員 2 人の派遣。</p> <p>財政支援 : 合併まちづくり総合事業として旧 3 町にそれぞれ 500 万円の支援。合併まちづくり地域整備支援事業として、合併協議会に 1,000 万円の支援。市町村合併特例交付金 60,000 万円の支援 ( 5 年間の分割で 1 年間 12,000 万円 )</p>	
( 13 ) 外部コンサルタントへの委託 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無	
委託費	919,526 千円
委託内容	新市将来構想策定業務、新市電算システム構築業務、庁舎事務所移転等計画策定業務、仮条例・例規集作成業務 他

## 5 . 合併の内容

( 1 ) 議員	
特例の適用	有 ( 定数特例 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 在任特例 ) ( 在任期間 1 年 8 ヶ月 ) ・ 無
その理由	新市建設計画における各種事業について計画どおり執行されているか方向を監理するため。
( 2 ) 農業委員会の委員	
特例の適用	<input checked="" type="checkbox"/> ( 2005 年 9 月まで特例措置を適用 ) ・ 無
その理由	他市町村の合併先進地の例もあり、三町の農業行政には、色々な事業を取り入れて行っていることから、1 年間は新市の方向を見極めるために特例を適用した。
( 3 ) 三役	
旧竜王町	町長は新市の市長、助役は退職、収入役は新市の教育長
旧敷島町	町長は退職、助役は新市の収入役、収入役は退職
旧双葉町	町長は新市の助役、助役、収入役は退職
( 4 ) 一般職	
定員管理	<定数の削減>現在の職員数 499 名を合併後 6 年以降段階的に削減
給与の調整	<給与の再調整・再計算>合併三町の給与の格差は軽微なため、3 年間で

	調整を行う。	
役職の調整	部長級を設置し、係長職を廃し、担当制(リーダー職新設)を導入した。	
(5) 組織・機構の整備方法		
合併と同時に、部制・課制とした。		
(6) 関係市町村の従前の支所・出張所の整備方法		
旧敷島町は従前から出張所を3箇所設置しており、合併後も引き続き出張所として配置した。		
(7) 地域審議会等		
設置の有無	有・無 (2006年5月1日、旧3町全てに地域審議会を設置)	
その理由	新市建設計画の円滑な推進を図るため。	
(8) 市町村税のうち、税率の調整を要した税目とその調整方法		
該当なし		
(9) 上下水道使用料(調整方針: 当面は旧自治体ごとに従前のおりとする)		
上水道料金	旧敷島町が甲府市水道局から水の供給を受けており、甲府市との協議も必要であるため、当面は旧自治体ごとに従前のおりとする	
下水道料金	当面は旧自治体ごとに従前のおりとし、新市の移行後、統一を図る。	
(10) 上下水道以外の使用料等(調整方針: 当面は旧自治体ごとに従前のおりとする)		
例外措置	特になし	
(11) 国民健康保険事業の調整(調整方針: 合併年度は旧自治体ごとに従前のおりとし、合併翌年度は統一を図る)		
賦課徴収方法	全て保険税方式	保険税方式
所得割	旧竜王町 5.9% 旧敷島町 5.01% 旧双葉町 6.10%	合併年度は、それぞれの町の例により、合併翌年度は統一を図る。
資産割	旧竜王町 30.00% 旧敷島町 36.24% 旧双葉町 33.50%	合併年度は、それぞれの町の例により、合併翌年度は統一を図る。
均等割	旧竜王町 28,800円 旧敷島町 27,400円 旧双葉町 23,000円	合併年度は、それぞれの町の例により、合併翌年度は統一を図る。
平等割	旧竜王町 29,400円 旧敷島町 29,400円 旧双葉町 25,000円	合併年度は、それぞれの町の例により、合併翌年度は統一を図る。
(12) 介護保険事業(調整方針: 合併年度は旧自治体ごとに従前のおりとし、介護保険事業計画に基づき保険料を算定し、統一を図る。)		
第1号被保険者の月額基準保険料	旧竜王町 32,000円 旧敷島町 29,300円 旧双葉町 28,800円	保険税率については、合併年度はそれぞれの町の例により、合併翌年度は、統一を図ることとなっている。

(13) 電算システムの取扱い	
整備方法	新市電算システム統合事業として、旧町の住民データの統合、財務会計システム、ホームページの構築などを実施。また職員1人1台のパソコンを配置した。
(14) 町・字の名称・区域	
名称・区域の変更	有・無
変更した場合、その内容と理由	

## 6. 合併後の状況

(1) 合併による財政削減効果：未定	
(2) 基本構想および総合計画の策定	
基本構想	2005年度に策定予定。
総合計画	2005年度に策定予定。
(3) 合併による効果	
<p>&lt; 住民の利便性の向上 &gt;</p> <p>住民の日常生活圏の拡大については、隣接して交流も盛んであり、竜王駅周辺整備や火葬場建設などに連携して取り組んできた三町が合併により、一つの行政体として政策決定や施策事業を行うことが、より効率的かつ効果的であること。</p>	
<p>&lt; 重点的な投資による基盤整備の推進 &gt;</p> <p>三町がそれぞれ計画した大型プロジェクトが合併により、有利の特例債を使い、質の高い施設を効率的、効果的に整備することができる。</p>	
<p>&lt; 行財政の効率化 &gt;</p> <p>財政状況が厳しさを増す中で、今後の社会経済情勢の変化に適切に対応していくため、効率的な行政運営が求められており、基礎的な自治体として市町村の役割と責任はますます増大してきている。このような要請に応えるためには、三町が合併することによって行政の効率化と体制の整備を図り、行財政基盤の強化を進めることが必要となる。</p>	
(4) 合併による問題点と解決策	
特になし。	
(5) 残された課題	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地方交付税の確保への不安</li> <li>・ 特例債は合併市町村にとって、最大のメリットであるが、全国の合併市町村に交付税として70%バックできるか不安であり、最大の課題である。</li> </ul>	